

## 学校支援地域本部事業について

平成29年12月21日  
教 育 局

## 1 学校支援地域本部事業に係る国の動向

平成20年度、国では「学校教育の充実」「生涯学習社会の実現」「地域の教育力の向上」を目的とし、学校支援地域本部事業の取組が始まった。本市では、この国の動きを受けて、平成20年度から学校支援地域本部の設置を開始し、学校教育の推進の基盤である「地域とともに歩む学校」を具現化する方策の柱として位置付けている。

## 2 学校支援地域本部のねらい

学校支援地域本部は、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることをねらいとしている。その活動は、学校の求めに応じた教育活動を支援するため、学校支援ボランティアの参加をコーディネートするものであり、「地域につくられた学校の応援団」である。また、地域住民が自らの知識・経験を行かすことにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化にもつながるものである。

## 3 学校支援地域本部の基本的なしくみ

## (1) 地域教育協議会

本部事業の推進に資するため、各本部に運営方針や支援活動の企画・立案を行う。その構成員は、学校やPTA、コーディネーターやボランティアの代表をはじめ、町内会や商店会等地域の関係者などが考えられる。

## (2) スーパーバイザー

本市独自の役職であり、本事業の運営事務や学校・地域および市教委との連絡調整、後進の育成など、総合的な調整役として学校と地域をつなぐ重要な役割を担っている。

## (3) 地域コーディネーター

学校支援活動が組織的に行われる体制をつくるため、学校と学校支援ボランティアの間を調整する役割を担う。学校が求めている支援活動の把握や学校支援ボランティアとの連絡調整、ボランティアに対するアドバイスなどを行う。

## (4) 学校支援ボランティア

実際に支援活動を行う地域の方々に、学校のニーズに応じて様々な活動が想定され、専門性が必要なものから、特段の資格や経験等がなくてもできるものまで多岐にわたる。

## 4 活動内容 表1：学校支援地域本部のこれまでの学校支援の実績

活動内容	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ボランティアのべ人数	37,823人	48,303人	63,346人	77,755人	90,648人	97,103人
ア 学習支援活動	2,422日	2,978日	4,018日	4,874日	5,839日	6,821日
イ 登下校指導	2,882日	3,379日	4,449日	4,946日	5,483日	5,673日
ウ 部活動指導	424日	519日	789日	888日	746日	734日
エ 環境整備	177日	196日	444日	485日	519日	490日

## ア 学習支援活動



書写（毛筆）の指導  
【上野山小 ひめこまつ応援団】



音楽（和楽器）等の指導  
【宮城野中 学校支援地域本部】

## イ 登下校指導



あいさつ運動での安全指導  
【黒松小 黒松もりあげ隊】

## ウ 部活動指導

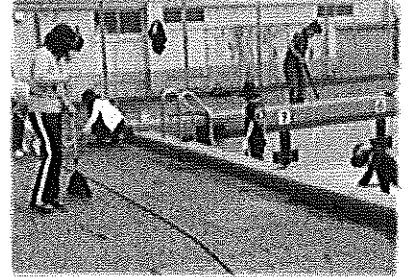


美術部ワークショップ  
【南小泉中 学校支援地域本部】

## エ 環境整備



防砂ネットの設置  
【鶴が丘中 学校支援地域本部】



プール清掃  
【将監小 スマイル将監】

### 5 実施状況 表2：中学校単位での学校支援地域本部の設置状況

活動内容	H23	H24	H25	H26	H27	H28
本部設置数	33	46	53	66	76	85
本部設置中学校区数	27	36	42	49	57	63
中学校区への設置カバー率	42%	57%	66%	78%	90%	100%

学校支援ボランティア数は年々増加し、中学校区へのカバー率も 100%となった。学校支援地域本部の活動にも広がりがみられる。